



世界最大規模のロボットコンテスト FLL で優勝！ 追手門学院大手前中・高ロボットサイエンス部

追手門学院大手前中・高等学校（大阪府中央区、校長：原田哲次）ロボットサイエンス部のチームは、今月アメリカで開かれた**世界最大規模のロボットコンテスト FLL 世界大会で総合優勝を果たし、世界一**となりました。世界一になったのは、追手門学院大手前中・高ロボットサイエンス部の生徒9人で行くチームで、前年に続く2度目の出場です。

世界大会は「水循環」をテーマに5月18日から3日間の日程でアメリカ・カリフォルニア州のレゴランドで開かれ、世界各国から80の代表チームが集まりました。

コンテストは①チームが製作した自走式ロボットを競技フィールドで操り、ミッションとよばれる20個の課題を2分30秒の制限時間内にクリアした数を競い合う「ロボットゲーム」と②製作したロボットのデザインや水循環に関する自由研究課題、チームワークを英語で説明する「プレゼンテーション」で構成され、合計得点で総合順位が決まります。



「世界一」となったチームのメンバー

追手門大手前チームは「ロボットゲーム」において、世界トップレベルの18個の課題をクリアできるロボットを開発、535点満点中410点と結果を残しました。本得点は世界5位。

「プレゼンテーション」では「納豆菌を使った水質浄化剤の製作」を自由研究課題として発表し注目を集めたほか、ロボットデザインとチームワークについても高い評価を得ました。

審査の結果、プレゼンテーションの内容について特に高く評価いただき、総合優勝（世界一）を果たしました。

First LEGO League (FLL) とは

チームは1チーム2～10名の9～16歳の子どもたちで構成。

88か国32,000チーム、255,000人以上が参加する世界最大規模のロボットコンテスト。